

基金の見直しについて

1 基本的な考え方

- ① 岡山県財政構造改革プランに掲げる「特定目的基金の整理」に基づき、自らの努力による歳入確保策に積極的に取り組む。
- ② 持続可能で、より適切な財政運営に改める必要があることから、繰替運用額の縮減に可能なものから取り組む。
- ③ 廃止する基金については、基金事業の内容から一般財源の方が、より円滑、柔軟に実施でき、その基金目的を達成しやすいものに取り組む。

2 見直し基金

法令に基づき設置されている基金及び全額国庫補助金により積み立てられている基金を除く全20基金のうち、下記の6基金

【廃止】

- ・ 岡山県高齢者福祉基金
- ・ 岡山県中山間地域保全基金
- ・ 岡山県工業団地開発関連事業基金

【統合】

- ・ 岡山県文化振興基金
- ・ 岡山県文化事業振興及び美術品取得基金
- ・ 岡山県環境保全基金（岡山県循環型社会形成推進基金へ統合）

} 統合

3 効果

約9億円の歳入対策（一般財源確保）と約5.2億円の繰替運用減少

4 統廃合時期

平成23年4月1日

【 一 覧 】

(単位:百万円)

区分	基金名	基金残高 (統廃合時見込み)		うち 歳入対策分	見直しの考え方等	
		現金				
廃止	岡山県高齢者福祉基金	現金	83	83	(現状) H22年度充当事業:高齢者在宅生活支援事業 (42百万円のうち10百万円) (見直しの考え方) 財政状況により廃止するが、必要な事業は一般財源で引き続き実施する。	
		繰替運用	1,500			
		合計	1,583			
廃止	岡山県中山間地域保全基金	現金	1,254	836	(現状) H22年度充当事業:中山間ふるさと・水と土 保全対策事業等(10百万円) (見直しの考え方) 財政状況により廃止するが、必要な事業は一般財源で引き続き実施する。基金に造成されていた国庫は返納する。	
		合計	1,254			
廃止	岡山県工業団地開発 関連事業基金	現金	346	346	(現状) H21、H22年度貸付実績なし (見直しの考え方) 財政状況により廃止するが、貸付制度は存続させ、必要に応じて一般財源で貸付を実施する。	
		貸付金	285			
		繰替運用	523			
		合計	1,154			
統合	岡山県文化振興基金	現金	1	3	(見直しの考え方) ほぼ同じ目的のため、整理統合する。 また、財政状況により適正な基金総額(20億円)とし、取得財産は予算要求した上で、一般会計で買い戻す。	
		有価証券	493			
		繰替運用	506			
		合計	1,000			
	岡山県文化事業振興 及び美術品取得基金 (岡山県文化振興基金 へ統合)	現金	1,509			
		動産	90			
		繰替運用	2,124			
	合計	3,723				
	※統合後 岡山県文化振興基金	現金	1,507			/
		有価証券	493			
合計		2,000				
統合	岡山県環境保全基金 (岡山県循環型社会形 成推進基金へ統合)	現金	1,079	△ 330	(見直しの考え方) 財政状況により、繰替運用530百万円を償還した上で、県費積立額2億円を一般会計へ繰り入れ、残りの部分は循環型社会形成推進基金へ統合する。	
		繰替運用	530			
		合計	1,609			
	岡山県循環型社会形 成推進基金	現金	783	/		
		合計	783			
	※統合後 岡山県環境保全・循環 型社会形成推進基金	現金	2,192	/		
		合計	2,192			
	歳入対策分 合計				938	
	繰替運用減少額				5,183	